

ARENEWS

筑波大学先導的研究者体験プログラム(ARE)とは、学群 1～3年生対象の研究者生活をリアルに体験できるプログラムです。

2014.12 No.4

平成26年度 先導的研究者体験プログラム 研 究 発 表 会

平成26年度先導的研究者体験プログラムに採択された学群 1～3年生が研究成果の発表を行います。プログラムへの参加を希望する学生さんだけでなく、他学類の研究を知りたい方も是非ご参加ください。学外の方も参加できます。日程は次のとおりです。

日時：2015年 1 月 19 日(月)
10:00～17:00

会場：筑波大学 第三エリア 3A棟2階
3A204, 3A207, 3A209

対象：どなたでも参加可。事前申込み不要。
直接会場へお越しください。

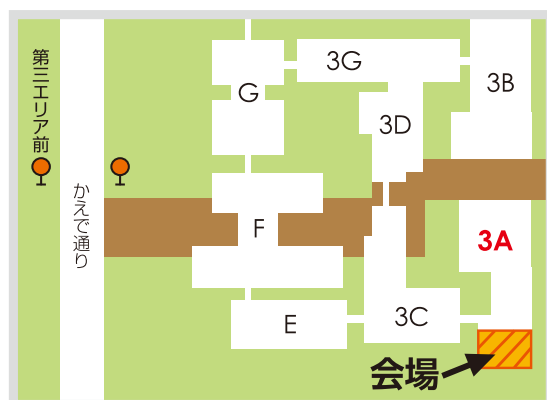


■プログラム

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会の挨拶
- 10:05 インデックスプレゼンテーション
- 11:40 昼休み
- 13:00 ポスター発表
- 15:00 ポスタービューイング
- 16:00 講評
表彰
閉会の挨拶

<アクセス>

TX つくば駅 つくばセンター 6番バス乗り場より
筑波大学循環バス(右回り)または筑波大学中央行に乗車
第三エリア前下車



プログラムの詳細は決定次第、下記WEBサイトに掲載いたします。

先導的研究者体験プログラムWEBサイト

<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS/>

H26年度 申請および採択件数

申請48件、採択45件(48名)

【募集区分】 S: 50万円以下、A: 20万以下、B: 10万円以下、C: 5万円以下、奨励: 0円

【募集期間】 7月1日(火)～7月8日(火)、 追加募集 7月14日(月)～7月31日(木)

募集時期毎の申請及び採択件数

一次募集(申請件数35件、採択件数34件)36名

申請件数: S: 0 件、 A: 2 件、 B: 12件、 C: 20件、 奨励: 1 件

採択件数: S: 0 件、 A: 1 件、 B: 11件、 C: 21件、 奨励: 1 件

追加募集(申請件数13件、採択件数11件)14名

申請件数: S: 0 件、 A: 3 件、 B: 4 件、 C: 4 件、 奨励: 2 件

採択件数: S: 0 件、 A: 3 件、 B: 4 件、 C: 3 件、 奨励: 1 件

所属別参加学生数				
所 属	全学年	1 年	2 年	3 年
人文・文化学群	7 (人)	0 (人)	4 (人)	3 (人)
人文学類	4	0	2	2
比較文化学類	2	0	2	0
日本語・日本文化学類	1	0	0	1
社会・国際学群	1	0	0	1
社会学類	1	0	0	1
生命環境学群	20	3	7	10
生物学類	7	0	2	5
生物資源学類	12	3	4	5
地球学類	1	0	1	0
理工学群	19	6	4	9
数学類	1	1	0	0
物理学類	1	0	1	0
化学類	2	0	1	1
応用理工学類	6	3	0	3
工学システム学類	7	2	2	3
社会工学類	2	0	0	2
情報学群	1	0	1	0
情報科学類	1	0	1	0

採択課題一覧

A	アゲハチョウ類の雌体内における精子の移動 生命環境学群 生物学類 2年 井戸川直人
A	閉鎖生態系導入に最適な生物活性を指標としたマメザクラ(<i>Prunus incisa</i>) 株の探索 生命環境学群 生物資源学類 3年 阿部友亮
A	イモリ肢再生におけるnAG-Prod1システムの機能解析 生命環境学群 生物資源学類 3年 守屋恵美
A	Face Tracking Projection Mapping 理工学群 工学システム学類 2年 杉浦光

B	ミクログリア細胞株BV2の増殖・形態を制御する新規物質の探究 生命環境学群 生物学類 3年 岡島智美
B	ビフィズス菌投与による線虫(<i>C.elegans</i>)の寿命延伸作用と作用機序の解明 生命環境学群 生物学類 3年 菅原賢也
B	相同組み換えによる <i>Ostreococcus sp.</i> (NIES-2674)に必須なセレノプロテインの同定 生命環境学群 生物学類 3年 丹野晶博
B	ツリガネニンジン属の花生態学 生命環境学群 生物学類 3年 船本大智
B	冷温帯アカマツ林における有機物の分解がササラダニ群集に及ぼす影響 生命環境学群 生物学類 2年 矢野更紗
B	情報学と遺伝学の利用による、トマトの着果を促進する新規遺伝子の同定 生命環境学群 生物資源学類 3年 武井瞳
B	複数プロモーターをもつ遺伝子発現スイッチの開発 生命環境学群 生物資源学類 2年 田村陽, 佐藤実希, 濱野直樹
B	1,3,5,7-テトラアザクバンの全合成 理工学群 化学類 3年 薄葉純一
B	食品応用を目指した、アミノ酸の添加による卵白タンパク質の凝集形成制御 理工学群 応用理工学類 3年 洪台勲
B	二酸化チタンによるハイパーラマン散乱の増強効果の研究 理工学群 応用理工学類 3年 山田慶春
B	ギター弦材料疲労が及ぼす楽器生成音劣化の工学的評価に関する研究 理工学群 工学システム学類 3年 大塚皓太
B	電気インピーダンス法を用いる葉物野菜の鮮度測定に関する研究 理工学群 工学システム学類 3年 岡村栄里奈
B	聴覚障害者のための装着型機器によるコミュニケーション支援の研究 理工学群 工学システム学類 3年 河原圭佑
B	Webマイニング技術を用いた、裁判における事件の正式名称と世間で一般的となっている事件の名称の関連付けに関する研究 理工学群 社会工学類 3年 久保大輝
B	柔軟で高速なオペレーティングシステム・カーネルの開発 情報学群 情報科学類 2年 怒田晟也
C	コア・イメージを利用した語彙学習がもたらす効果の解明 人文・文化学群 人文学類 3年 大河原にじ香
C	日本語の用言における評価表現の記述 人文・文化学群 人文学類 3年 齋藤匠偉
C	テキスト構造の違いが日本人英語学習者の理解に及ぼす影響の解明 人文・文化学群 人文学類 2年 小木曾智子
C	日本人英語学習者のテキスト理解における再話とイメージ提示の併用効果 人文・文化学群 人文学類 2年 鈴木優歩
C	茨城県つくば市およびその周辺のペット墓地から見る日本人の「ペット」観 人文・文化学群 比較文化学類 2年 砂田恭佑, 大木啓太
C	安部公房『壁』における支配者と被支配者の関係 —シュルレアリスム及びマルクス主義における「支配者を支配する存在」へのアプローチから— 人文・文化学群 日本語・日本文化学類 3年 横内碧
C	摂食障害から見る健康と幸福 社会・国際学群 社会学類 3年 佐藤知菜



先導的研究者体験プログラム(ARE)に関するご質問ご相談は上記事務局にお問い合わせください。

採択課題一覧	
C	ヒトがん細胞株における可溶性CD155の発現解析 生命環境学群 生物学類 3年 祖天琳
C	寿命調節転写因子DAF-16の熱ストレス応答機構の解明 生命環境学群 生物資源学類 3年 平田優介
C	マウスアダルト腎臓細胞を初期未分化に誘導する外的刺激条件の樹立 生命環境学群 生物資源学類 3年 Zhang Shike
C	自生するツツジ科植物に共生する菌根菌 <i>Rhizoscyphus ericae</i> の林内分布とその分散方法の解明 生命環境学群 生物資源学類 2年 坂入愛
C	重金属環境下における超集積性植物の内生微生物の機能解明 生命環境学群 生物資源学類 1年 伊藤汰一
C	トマトの果実形成に必要なめしべ細胞の特定 生命環境学群 生物資源学類 1年 大谷祐矢
C	中国内蒙古における砂漠化防止・回復のための土―草―家畜物資循環修復モデルの確立 生命環境学群 生物資源学類 1年 和田光代
C	石器材料に適した放散虫岩とその地球科学的意義 生命環境学群 地球学類 2年 石井彰吾
C	<i>Schur</i> 多項式を通じた線形回帰数列の表現論的考察 理工学群 数学類 1年 山口流聖
C	クーロン力を用いた立体選択性の制御 理工学群 化学類 2年 永井瑛
C	アスリートのコンディショニング用マイクロバイオセンサーの開発 理工学群 応用理工学類 3年 伏木蒼太郎
C	直接電子移動型バイオ電池での電極と酵素間の結合の研究 理工学群 応用理工学類 1年 武藤敢太
C	液晶構造を用いたフォトニック材料の開発 理工学群 応用理工学類 1年 大高生
C	有機分子を用いた水素吸蔵材料表面への水素吸着の研究 理工学群 応用理工学類 1年 蛭田剛基
C	金管楽器の吹鳴に関わるパラメータの可視化 理工学群 工学システム学類 2年 高橋翔
C	視覚認識によるフィードバックの観察を行うための装置の開発 理工学群 工学システム学類 1年 石根健史
C	日本人の漢字使用率の変遷について～芥川賞受賞作品に関する調査研究～ 理工学群 社会工学類 3年 菅野倫匡
奨励	BNCTの即発γ線検出器における位置検出非線形性の補正マップ作製と検証 理工学群 物理学類 2年 武田潤
奨励	脳神経のシナプスにおける抗鬱薬レキサプロが作用する様子の分子レベルの動画の作成 理工学群 工学システム学類 1年 井上直也